

「安心できる病院残して」母の不安よそに

縮小・再編案を承認

大阪府審議会

大阪府医療審議会は26日、大阪市内で審議会を開き、大阪市立住吉市民病院(住之江区)の廃止(3月末)に伴う病院再編計画案を承認しました。今月末に計画を厚生労働省に申請します。

府と大阪市は住吉市

民病院廃止にあたり、同病院の医療機能を継承するとしています。が、再編計画は住吉市民病院198床のうち97床を大阪急性期・総合医療センターに移管。大阪市が跡地に建設するとしている新病院開設までの6年間、住吉市民病院の既存棟を活用して市立住之江

診療所を開設するといふものです。診療所は小児科、産婦人科の外来のみで入院病床はありません。審議会では「跡地には診療所ではなく入院できる公的医療機関を」「住吉市民病院を利用して重症心身障害児の母親から電話をもらい、どれほどい

い病院かわかった。不安に心える配慮を」などの要望が出ました。審議会の会場前で「住吉市民病院をまもるママの会」が「安心して出産し、子どもが入院できる病院を残してください」と宣伝。傍聴した「住吉市民病院を充実させる市民の会」の女性は「あきらめないでこれから声をあげていきたい」と話していました。



審議会開催に向けてアピールする「ママの会」の人たち＝26日、大阪市